

---

# 夢のお嘶

泉未 芹

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

夢のお漸

### 【著者名】

N7525D

### 【作者名】

泉末 芹

### 【あらすじ】

気付いてください大切なものに。忘れないでくださいそれを。

ある晴れた日、青空のしたで少年はかんがえていました。自分が大人になるといつひとと、いつかしたいたくさんのこと。

どうぶつたちとくらしたいなあ。ものがたりをかいてみたいしつたもつたいたい。こんなといふほづけんにもいきたいな！

それはとてもわいわいらとかがやき、おこでおいでと少年の心をくすぐります。少年は大きくなぬ」とが楽しみでしかたがありませんでした。

少年はお母さんく夢の話をしました。いつぱいいつぱい自分のおもいをお母さんに伝えました。しかしお母さんはいいます。

それはダメよ。たくさんぐんぎょうをしてかしいくなつてきちんととはたらかなさい。そんな夢はすててしまいなさい。

と。少年はお母さんのことときいて、なきながら夢たちとおわかれをしました。その田から、少年の口から自分の未来のお話がでてくることはなくなりました。きらきらとかがやいていた少年の夢たちは、少年の心からおこだされてしまったのです。

それからいくつもの月日がながれ、少年は青年へと成長しました。たくさんべんきょうしたので、青年はまじめでとてもかしこい人になりました。そしてそれをいかして青年はひとつにはたらきました。

まわりの人はいいます。

彼はすばらしい、と。そしてみな、いつもびづけます。  
けれど彼はしあわせそうではないね、と。

幼いころに夢をすてた青年は、夢の見かたをわすれてしましました。  
そしてぼつかりとあいた心の穴にきづかずにつれからも生きていく  
のです。

(後書き)

はじめまして、泉末芹とこいます。この話を読んでくれてありがとうございます。初めての投稿なので少し緊張があります…。  
もしよかつたら感想などお願いします！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7525d/>

---

夢のお嘶

2011年3月24日23時46分発行